

桑折・伊達

- 19.野 雁 集 安藤 野雁
- 20.天 狗 廻 状 半井 桃水

二本松・安達

- 25.可 笑 記 斎藤 親盛
- 26.黒塚／安達原 金春禪竹／巖谷小波
- 27.東京新繁昌記 服部 撫松
- 28.歴 史 榊山 潤
- 29.智 恵 子 抄 高村光太郎
- 30.和 紙 東野辺 薫

本 宮

- 31.好色一代男 井原 西鶴
- 32.突貫紀行・遊行雑記 幸田 露伴

梁 川

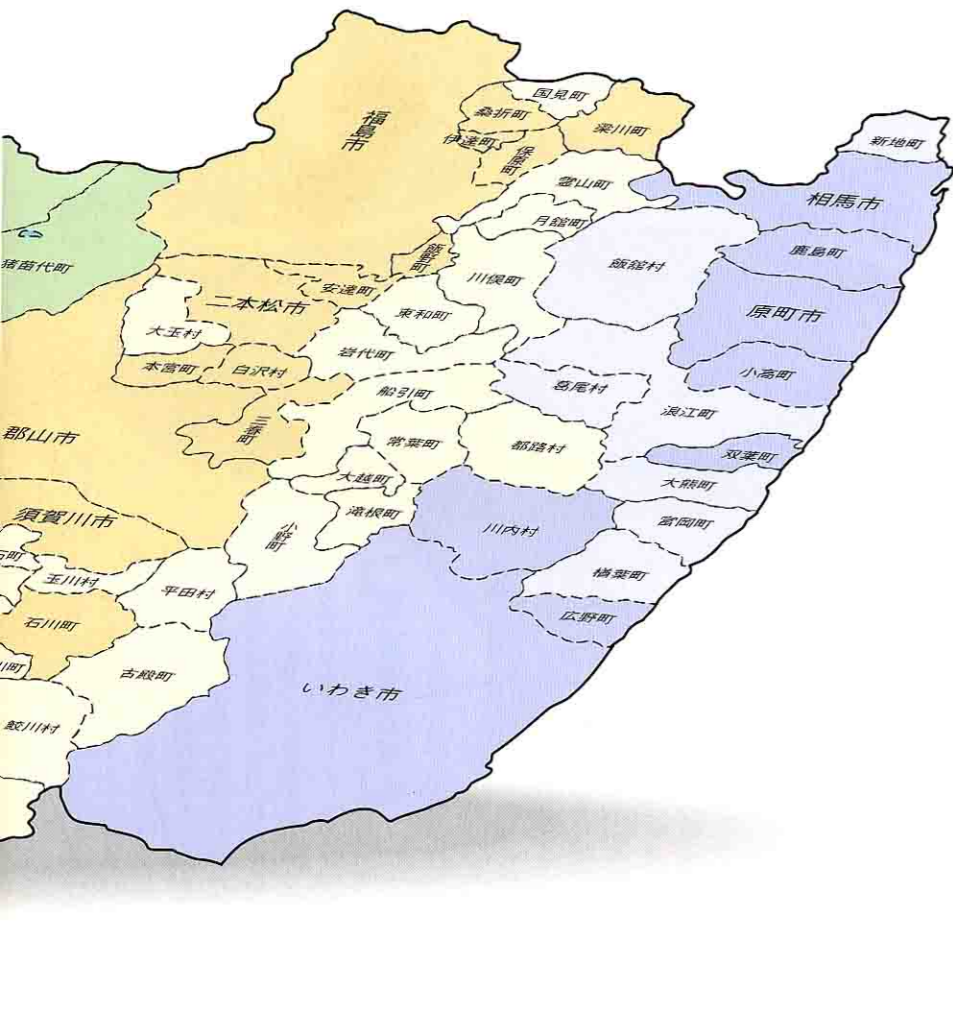
- 21.流離譚・大世紀末サーカス 安岡章太郎
- 22.蠣崎波響の生涯 中村真一郎

保 原

- 23.信 達 歌 熊阪 台州
- 24.嗣となった女 小林美代子

飯 野

- 18.橋のある風景 斎藤 利雄



白河・西郷

- 49.白河紀行 飯尾 宗祇
- 50.陸奥松島一見記 西山 宗因
- 51.花月草紙 松平 定信
- 52.阿武隈川水源の仙境／甲子温泉行 大町桂月／結城哀草果

棚 倉

- 53.棚倉百勝詠歌集・ある訪問 田山 花袋

相 馬

- 77.乙 字 句 集 大須賀乙字
- 78.丹 下 左 膳 林 不忘
- 79.祖 父 志賀 直哉
- 80.天地静大・二十三年 山本周五郎

鹿 島

- 82.万 葉 集 笠 女 郎

原 町

- 83.相馬の仇討 直木三十五
- 84.まぼろしの鹿 加藤 楸郎

小 高

- 85.いなかぶり 島尾 敏雄
- 86.死 霊 埴谷 雄高

双 葉

- 87.近代文学論争 白井 吉見

広 野

- 88.谷間の太陽・白い壁画 富沢有為男

いわき

- 89.露沾公詠草 内藤 露沾
- 90.東海遊侠伝 天田 愚庵
- 91.隣室の客・青草集 長塚 節
- 92.大 菩 薩 峠 中里 介山
- 93.雲 山村 暮鳥
- 94.移 住 民 猪狩 満直
- 95.天中軒雲月・月光仮面 川内 康範
- 96.定本 蛙 草野 心平
- 97.兵士たちの言葉 ノーマンメイラー
- 98.たった二人の工場から 真尾 悦子
- 99.涙をたらした神／阿武隈の雲 吉野せい／三野混沌
- 100.人民は弱し官吏は強し 星 新一

ふくしま文学略年表

1

福島県の文学	日本文学	県内・国内の歴史
奈良時代末期 「万葉集」	延喜 5 (905) 「古今和歌集」	大化 1 (645) 大化の改新
室町時代中期 金春禪竹「黒塚」	平安時代中期 紫式部「源氏物語」	養老 2 (718) 石城国、岩背国建置
応仁 2 (1468) 宗祇「白河紀行」	清少納言「枕草子」	建久 3 (1192) 源頼朝が鎌倉幕府を開く
明応 4 (1495) 「新撰菟玖波集」、猪苗代兼載が編纂協力	元久 2 (1205) 「新古今和歌集」	慶長 8 (1603) 徳川家康が江戸幕府を開く
江戸時代前期 内藤露沾「露沾公詠草」	鎌倉時代前期 「平家物語」	寛永 20 (1643) 保科正之が会津に移封され初代藩主
寛永 19 (1642) 斎藤親盛「可笑記」	鎌倉時代末期 吉田兼好「徒然草」	天明 7 (1787) 白河藩主松平定信が老中となり寛政の改革に着手
延宝 7 (1679) 西山宗因「陸奥松島一見記」	貞享 3 (1686) 井原西鶴「好色五人女」	万延 1 (1860) 磐城平藩主安藤正信が老中となり公武合体策を進める
天和 2 (1682) 井原西鶴「好色一代男」	享保 5 (1720) 近松門左衛門「心中天の網島」	慶応 2 (1866) 信達地方に世直し一揆起こる
元禄 12 (1699) 相楽等躬「伊達衣」	安永 5 (1776) 上田秋成「雨月物語」	明治 1 戊辰戦争
〃 15 (1702) 松尾芭蕉「おくのほそ道」	文化 11 (1814) ～天保 13 (1842) 滝沢馬琴「南総里見八犬伝」	〃 9 旧 3 県合併して福島県となる
天明 7 (1787) 熊阪台州「信達歌」		〃 10 西南の役
享和 3 (1803) 山東京伝「復讐奇談安積沼」		〃 15 安積疎水完成 福島事件
文化 4 (1807) 山東京伝「安積沼後日仇討」		〃 18 会津三方道路工事が竣工
文政 1 (1818) 松平定信「花月草紙」		〃 21 磐梯山大噴火
天保 2 (1831) 安積良斎「長斎文略」		〃 24 東北本線全線開通
嘉永 6 (1853) 市原多代女「晴霞句集」		〃 27～28 日清戦争
元治 1 (1864) 安藤野雁「野雁集」		〃 37～38 日露戦争
		〃 41 大逆事件
明治 7 (1874) ～14 服部撫松「東京新繁昌記」山城屋政吉、他	明治 21 森鷗外・舞姫	大正 3 伊達鉄橋事件 猪苗代第一発電所と東京への高圧送電線完成
〃 17 (1884) 天田愚庵「東海遊侠伝」興論社	〃 24～25 幸田露伴・五重塔	
〃 18 (1885) ～30 東海散士「佳人之奇遇」博文堂	〃 28～29 樋口一葉・たけくらべ	
〃 26 (1893) 幸田露伴・突貫紀行、「枕頭山水」博文館に収載	〃 30 島崎藤村「若菜集」	
〃 28 (1895) 高山樗牛「樋口入道」春陽堂 正岡子規・はて知らずの記、「増補再版獺祭書屋俳話」日本新聞社に収載	〃 33 泉鏡花・高野聖	
〃 29 (1896) 巖谷小波「安達か原」博文館	〃 34 与謝野晶子「みだれ髪」	
〃 30 (1897) 若松賤子「小公子」博文館	〃 38～39 夏目漱石・吾輩は猫である	
〃 34 (1901) 広津柳浪「摺上川」金桜堂	〃 40 田山花袋・蒲団	
〃 35 (1902) 幸田露伴・遊行雑記、「露伴叢書」博文館に収載	〃 43 長塚節・土石川啄木「一握の砂」	
〃 41 (1908) 半井桃水「天狗廻状」文禄堂書店		
〃 42 (1909) 後藤由外・会津節、「裾野後編」春陽堂に収載		
大正 2 (1913) ～昭和 16 中里介山・大菩薩峠		
〃 4 (1915) 泉鏡花「白羽箭」千章館		

2

福島県の文学	日本文学	県内・国内の歴史
長塚節・隣室の客、「炭焼の娘」春陽堂に収載	大正 3 夏目漱石「こゝろ」	岩越鉄道全線開通
若山牧水「砂丘」博信堂	高村光太郎「道程」	第一次世界大戦に参戦
大正 6 (1917) 宮本百合子「貧しき人々の群」玄文社	〃 4 徳田秋声「あらくれ」	大正 7 県内及び全国で米騒動が起きる シベリア出兵を宣言
田山花袋・ある訪問、「東方時論」2月に収載	〃 5 芥川龍之介・鼻	〃 8 磐城炭礦抗夫ストライキに入る 福陽美術会結成
宮本百合子・榊原宮田、「中央公論」8月に収載	〃 6 倉田百三「出家とその弟子」	〃 9 戦後恐慌で株式市場株価暴落 平塚らいてう達により新婦人協会結成
大町桂月・阿武隈川水源の仙境、「学生」10月に収載	〃 7 室生犀星「抒情小曲集」	〃 11 有島武郎「或る女」
長塚節・青草集、「長塚節歌集」春陽堂に収載	〃 8 武者小路実篤・友情	〃 12 全国水平社創立
〃 7 (1918) 森鷗外・山椒大夫、「高瀬舟」春陽堂に収載	〃 10～昭和 12 志賀直哉・暗夜行路	〃 14 関東大震災
柳沢健、熊田精華、北村初雄「海港」文芸堂書店	〃 12 萩原朔太郎「青猫」	〃 14 郡山労働組合主催で県下初のメーデー挙行 治安維持法・普通選挙法公布
〃 9 (1920) 水野仙子・酔ひたる商人、「水野仙子集」叢文閣に収載	〃 13 宮沢賢治「春と修羅」	
〃 10 (1921) 久米正雄「阿武隈心中」新潮社	〃 15 川端康成・伊豆の踊子	
斎藤茂吉「あらたま」春陽堂		
大須賀乙字「乙字句集」懸葵発行所		
〃 11 (1922) 泉鏡花・飯坂ゆき、「新柳集」春陽堂に収載		
〃 13 (1924) 横光利一・蠅、「日輪」春陽堂に収載		
直木三十五・相馬の仇討、「仇討十種」プラトン社に収載		
〃 14 (1925) 山村暮鳥「雲」イデア書院		
渡部信義「灰色の藁に下がる」文化学会出版部		
昭和 3 (1928) 林不忘「新版大岡政談」(後に「丹下左膳」と改題再刊)平凡社	昭和 4 小林多喜二・蟹工船	昭和 2 金融大恐慌 安積疎水疑獄事件有罪判決 3・15事件
〃 4 (1929) 猪狩満直「移住民」銅鑼社	徳永直・太陽のない街	〃 6 日本プロレタリア文化連盟結成
田中冬二「青い夜道」第一書房	小林秀雄・様々な意匠	〃 8 三陸地震・津波
大仏次郎「からす組」改造社	〃 5 横光利一・機械	〃 9 東北地方大凶作 水郡線全線開通
〃 10 (1935) 賀川豊彦「乳と蜜の流るゝ郷」改造社	三好達治「測量船」	〃 10 天皇機関説問題化
真船豊「鮠」双雅房	〃 9 中原中也「山羊の歌」	〃 11 2・26事件
〃 11 (1936) 結城哀草果・甲子温泉行、「温泉」5月に収載	〃 12 永井荷風・遅東綺譚	〃 16 大政翼賛会結成
〃 14 (1939) 中山義秀「碑」創元社	川端康成「雪国」	
榊山潤「歴史」砂子屋書房	立原道造「萱草に寄す」	
〃 16 (1941) 諏訪三郎「大地の朝」講談社		
高村光太郎「智恵子抄」龍星閣		
山本友一「北窓」国民文学社		

※「福島県の文学」の項は、各作品の発表年ではなく、入手等の便を考慮して発行所名を記したうえ、初版本の刊行年を中心としているため、「100選一覧」及び本文の年代とは相違している場合がある。

